



20日 山形県鶴岡市のBISTRO
下水道プロジェクト視察。有名
農産物が下水道でグレードアップ。

ミス日本ニュース8月号

ミス日本コンテスト事務局 毎月1回配信
公式WEB⇒ <http://www.missnippon.jp>



日本の水が産み出す 新しい価値を発信！

8月6日から4日間開催された下水道展19横浜。全国各地の最新の取り組みが紹介される中、水の天使西尾はOPやステージイベント、ブース見学など一年で一番忙しい日々。今年では2005年度準ミス日本で、スイーツブランド「UPBEET! TOKYO」を手がける神宮司希望さんが、じゅんかん育ち野菜を使ったヘルシーで美味しいスイーツを企画販売。完成品は味はもちろん大好評、見た目もおしゃれでカワイイとあって、毎日100個以上が飛ぶように売れていきました。**下水道が生み出す価値が、消費者の手にしやすい形になることへの期待**を感じました!!



5日 水資源功労者表彰式にて浴衣姿の水の天使西尾が、石井国交大臣と一緒に打ち水。涼風を感じます。



6日 下水道展では水の天使は主にパブリックゾーンを担当。子供や親子連れを対象に、水の恩恵をいくつも紹介します。ステージでは西尾さんのアイデアで事前にニュース番組を収録。実物と画面の二人の西尾が、農業やエネルギー、都市の安全に寄与する下水道のありがたさを発表して、大変好評でした。



1日 8月1日は「水の日」です。水を考える集いに出席しました。全日本中学生水の作文コンクールの表彰式では受賞者を祝福。水の天使OGに御指導いただいたこともある、東大名誉教授の虫明功臣先生の講演会が行われました。



8月 来年1月に開催される第52回ミス日本コンテスト2020に出場するファイナリストが各地区で選ばれています！ 選ばれたファイナリストは10月から「内面・外見・行動の3つの美を育む勉強会」にて、さらに磨きをかけていきます。今よりも、1月の大会当日に数段上の輝きを放てるように、共に助け合い励ましあい、成長を果たしてまいります！

東日本地区代表9名

小田安珠 (21) 慶応義塾大学3年
西村香也子 (21) 立教大学3年
井戸川百花 (19) 中央大学2年
森谷実雲 (20) 山形大学3年
宮下薫 (19) 日本女子大学2年
青木胡杜音 (19) 日本工学院専門
属安紀奈 (20) 大妻女子大学2年
中村真優 (21) 獨協大学
田中絵梨果 (21) 慶應義塾大学3年

東海地区代表1名

加藤花菜 (19) 名古屋文化短期大

全国最終補選2名

高岡志帆 (17) 高校生
藤山桃子 (21) 慶應義塾大学3年

Mysta × ミス日本 特別オーディション開催！

第52回
ミス日本コンテスト2020

mysta からファイナリストを選出！

動画アプリを展開するMystaにて「ミス日本のファイナリスト」になれる動画オーディションを開催いたします。これまでにミス日本の予選で残念ながら残れなかった方も応募OK。自己紹介動画を投稿し、最も多くの共感を集めた方がファイナリストになります！エントリー受付中！9月8日投票開始！

詳細は「Mysta ミス日本」で検索!!

 **mysta**



11日 みなかみ町エコツアーのゲストハイカーに水の天使西尾。関東に清廉な水をもたらすみなかみの杜を楽しみました。



14日 サマージャンボ宝くじの抽選会にて抽選立会人を務めた水の天使西尾。億万長者誕生の瞬間を見守りました。



18日 名古屋競輪G1オールスター戦にてスポーツの魅力をお話する西尾。来年から名古屋でアナウンサーです。



3日 子供に大人気のやどりき水源林のつどい。みどりの女神藤本が緑の募金呼びかけや水源林の機能を子供達に紹介。



11日 山の日全国大会が山梨県甲府市にて開催。レセプションや式典に登場。



21日 シーフードショーに海の日高橋が登場。美味しいお魚と、持続可能な水産資源について取り組みを視察。



22日 総理官邸で行われた海洋立国推進功労者表彰式。日本に欠かせない海を支えた方々に感謝の表彰。海の日高橋が祝福。



8月 とうきょう林業サポート隊を募集中です！ポスターキャラクターにみどり藤本。



1,2日 佐鳴予備校にて受験勉強のために夏期講習に打ち込む学生に、学びのコツを伝授するグランプリ度會。東大理Ⅲ合格者の実体験を披露。



24日 埼玉木とのふれあいまつり。地元の子供達が木のおもちゃや大工体験に夢中になっていました。



11日 群馬県山の日記念21世紀の森祭りにて、16みどりの女神で群馬県出身の飯塚帆南が登場。記念の植樹。



21日 スポーツニッポンフォーラムにてみどり藤本と海の日高橋が登場。林野庁の本郷長官（写真左）や、スポーツ庁の鈴木長官もお見えになり、いよいよ始まるラグビーW杯の話題で盛り上がりしました。



8日 Kグループ共催レセプションの司会振興に水の天使西尾。水関連企業に勤める皆様からたくさんのお話をきくことができました。



SDGs目標10 ゲスト講師
異言語Lab.代表理事
菊永ふみ氏

ミス日本×ACT SDGs



SDGs目標9 ゲスト講師
NPO法人ハックジャパン
副代表理事 柳川優稀氏

【ミス日本×ACTSDGs】SDGs実践講座の第6回を、日刊工業新聞社にて開催しました。ミス日本特別賞の南谷真鈴や、水の天使西尾菜々美、OGからは85ミス日本で事業家の赤須知美さんも駆けつけました。

「SDGs目標⑩誰も取り残さないコミュニケーション」では異言語Lab.代表理事の菊永ふみさんが登壇。最新の情報やセミナーなど魅力的な企画があっても、ろう者はサポートがないと聞くことができないため、同じ社会にしながら情報格差が生じます。菊永さん自身のろう者としての実体験をお話くださいました。これは健常者においても海外で言語が使えないと満足に資質を発揮できないのと同じことで、コミュニケーション手段によって不平等が生まれてしまうことは誰にも起こります。障害者を含めたすべての人が活躍できるために、**コミュニケーション手段を確保したりサポートすることで、社会に多様性をもたらし、幅広い資質の人々が力を発揮できる社会へとつながります。**

「SDGs目標⑨テクノロジーと人との関係」ではNPO法人ハックジャパン副代表理事の柳川優稀さんが登壇。現役高校生として学校に通いながら3つの法人の代表を務め、全国でプログラミング教育事業を展開しています。講演ではAIの進化とどう付き合っていくかを議論。**テクノロジーの恩恵を受ける私達は、自らの資質や歴史、趣味や嗜好を意識し、アイデンティティーの確立によって能動的にテクノロジーを社会に活かしていく姿勢が必要なのだと考えられました。**

テクノロジーの進化が、人の不便や不平等を解消する反面、テクノロジーによって仕事や趣味が失われていってしまうこともあります。**機械では替わりを果たせない、自らの役割や人生の意味を考える1日となりました。**



9日 ミス日本事務局が約25年、居を構えている京王プラザホテル主宰のボランティアプラザに、藤本と18岡部が登場。被介助体験やバリアフリー体験を通じて、バリアフリー社会について考える機会となりました。



19日「深いイ話」18ミス着物の岡部七子の特集でした。「世界で注目される天才」と銘打たれた岡部の生活は、明けても暮れても勉強と研究一筋。その姿を垣間見ることができ、必見です。見逃した方は事務局和田まで。

★8月の活動★

- 1日 第43回「水の日」記念行事 水を考える集い /西尾
- 1,2日 佐鳴予備校 サナルトークイベント 講師 /度會
- 3日 第18回やどりぎ水源林のつどい 司会 /藤本
- 5日 水資源功労者表彰式 & 水の週間打ち水大作戦/西尾
- 6-9日 下水道展'19横浜「下水道、くらしを支え、未来を拓く」
OP式典、ステージ司会 & 発表、限定スイーツ販売/西尾
じゅんかん育ちスイーツ 企画販売/05神宮司、和田あい
- 8日 Kグループ共催レセプション ゲスト/西尾
- 9日 京王プラザ ボランティアプラザ 協力/藤本、18岡部
- 11日 第3回「山の日」記念全国大会in山梨 出演 /藤本
2019みなかみエコツアーハイキング ゲスト/ハイク /西尾
群馬県山の日記念21世紀の森まつり ゲスト /16飯塚
- 14日 サマージャンボくじ抽選会 立会人/西尾
- 18日 第61回オールスター競輪G1 トークゲスト & 表彰式/西尾
- 19日 日本テレビ「深いイ話」メイン出演 /18岡部
- 20日 山形県鶴岡市 令和元年度BISTRO下水道資勉強会/西尾
- 21日 スポーツニッポンフォーラム ゲスト/藤本、高橋
ジャパン・インターナショナル・シーフードショー /高橋
- 22日 海洋立国推進功労者表彰式 /高橋
- 24日 埼玉県木材協会 木とのふれあい祭 北浜市場 ゲスト/藤本
- 25日 第52回ミス日本コンテスト2020 西日本地区大会
- 26日 第52回ミス日本コンテスト2020 東日本地区大会
- 27日 第52回ミス日本コンテスト2020 九州地区大会
- 30日 第52回ミス日本コンテスト2020 東海地区大会
【ミス日本×ACT SDGs】第6回SDGs実践講座
- 30日~9月3日 クアオルト・テラポイト受講 & 資格試験/藤本

★9月の予定(調整中や予定含む)★

- 1日 第51回ミス日本コンテスト2019 全国最終補選
- 1~2日 クアオルト・テラポイト受講 & 資格取得/藤本
- 3日 上級救命講習受講/藤本
- 5日 プレジデントファミリー2019年秋号
2018ミス日本ミス着物 岡部七子インタビュー掲載
- 10日 循環のみち下水道賞 表彰式 /西尾
- 11日 クアオルト所沢 講師トレーニング①/藤本
- 14日 YOGA & Biodiversity Tour ヨガ指導講師/17野中
- 15日 ミス日本運営委員会公開講座「ミス日本の秘密、教えます」
- 17日 クアオルト所沢 講師トレーニング②/藤本
- 17,18日 ブライダルスタイリストSOGA 和装撮影/高橋、18岡部
- 19,20日 東北森林管理局 一日森林管理署長/藤本
- 22日 クアオルト所沢 講師トレーニング③/藤本
- 25日 千葉県ログハウスDIY企画(仮) 伐採撮影/藤本、16飯塚
- 26日 クアオルト所沢 講師トレーニング④/藤本
- 27,28日 下水道施設管理業協会 出前講座/谷
- 29日 快適生活 下水道フォーラム2019 /谷
クアオルト所沢 講師トレーニング⑤/藤本

・2019BBMベースボールカード 2ndバージョン

8月15日発売 始球式カード/度會

・東京都農林水産振興財団 とうきょう林業サポート隊ポスター/藤本

OGの履歴書 第16回

江原千花さん



2011年度準ミス日本 山口県下関市出身 受賞当時15歳。
梅光学院高等学校音楽科を卒業後、女優・モデル・ダンサーとして活動。
今年2月は二人芝居『父と暮せば』(作・井上ひさし)を下関で自主上演、
215名動員。代表を務める「下関リーディングの会」では朗読劇を通じた
地域活性化を目指し、図書館公演や学校での表現講座を開催。
今後の出演は・・・
9月北九州・宮崎・熊本にて井手茂太振付『ギミックス』ダンス出演、
10月下関にて『林 伊佐緒 ふるさとコンサート』ゲスト出演
11月『田中絹代生誕記念』ゲスト出演
12月山梨県甲府にて生演奏創作音楽劇『ヤマガヒ』役者出演。

---受賞時の思い出。

15歳で準ミス日本に選出いただいたことは、まぎれもなく私の人生の転機でした。まさか自分がミスコンテストに応募するなんて考えたことがなかったので、本当に驚きました。しかしながらコンセプトの「一所懸命なこころ美人」は、自身が目指す姿そのもので、候補生として参加したお勉強会の内容に心打たれ、そしてそこで出会う方々に憧れていったことを思い出されます。

思えば、当時は知りたいことや学びたいことに溢れていたもので、スポンジのように何でもかんでも吸収するのに精いっぱい、ミス日本お勉強会の内容のすごさに気づいたり、充分感動するような余裕がなかったように思います。今思えばとても贅沢な時間を過ごしていました。

価値観が形成されていく時期に、心を輝かせて生きている素敵な先輩方に出会うことができ、心のあり方や生きていくうえで大切なことのエッセンスをめいっぱい吸収させていただいている気がします。ミス日本を通じて出会った方々との交流は宝物です。



---印象深い活動といまの自分

1月のコンテストからまもなく、3月11日に東日本大震災が発生し、2011年度ミス日本としての活動も日本各地が自粛ムードの中でのスタートでした。受賞者のポストカード撮影も延期となり、本格的には5月ごろから動き出したように思います。ボランティア活動に正面から向き合う1年間はわたしの価値観を大きく変え、それが、いま下関リーディングの会など非営利団体で活動しているきっかけになっている気がします。舞台などお仕事で明確な方向性を持って表現する活動と、ボランティアで人と人の繋がりを確かめながら広げていく活動、ふたつが揃って、ようやく自分でいられるような感覚を持っています。表現するということの多様性・可能性を存分に楽しみたいのかもしれない。



---いま取り組んでいること

最近はお下関出身者の顕彰活動に参加することがよくあり、去年は母校の先輩でもある昭和の名女優・木暮実千代さんの生誕百年でした。木暮さんはミス日本コンテストの審査員をされたこともあるそうです。木暮さんの随筆を朗読したり、若き日の木暮さんを演じるという機会もいただき、お会いしたことがないのに、そのお人柄から勇気づけていただくことも多く、

忘れられない経験でした。ほかにもオペラ歌手の藤原義江さんやシンガーソングライターの林伊佐緒さん、田中絹代さんなど、素敵な方が沢山いらっしゃいます。

---これからの夢

フリーランスでの活動は自由度が高く、とても面白いです。個性や特徴を活かしたお仕事をさせていただいていると感じます。問題は物事を進めるのが遅いほうなので、スピードが魅力のフリーランスとしては未熟だなあと反省することもしばしばです。受賞時にお話ししていた夢は「成長し続けるミュージカル女優」現在は演技とダンスを集中的に磨き、活動のなかでも特に大切にしていますが、自身にできる表現のひとつとして歌も続けています。今年の春からは神楽舞のお稽古で神社に通い、神道の考え方や、ダンスと舞の違いを学んでいます。今している色々なことがいつか一つになって大きなものになり、社会のどこかで、きっとお役に立てると考えています。30歳ぐらいになったらいい女優さんになっているように、その時が来るまでは、ただ与えられたご縁とお仕事ひとつひとつを大切にしながら、「一所懸命なこころ美人」として志高く歩んでいきたいです。そして願わくば、存在そのものを通じて日本文化の素晴らしさや生きる喜びを感じていただけるような人になりたいです。それはまさに、ミス日本コンテストに出会ったあのとき、憧れた人たちから受け取ったものを繋いでいきたいということなのだと思えました。